

## シャープ製シアターラック「AN-SR600」ご購入のお客様へ

日頃はケーズデンキをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

この度、シャープ製のシアターラック「AN-SR600」につきまして、組み立て方が不十分な場合にグラつきが生じる場合があります。グラつき防止のための背板を追加することとなりました。

シャープサービス会社の担当者がお客様宅をご訪問させていただき、背板の追加を行わせていただきますので、お手数をお掛けいたしますが、下記窓口までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

お客様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

(シャープ株式会社からの連絡内容)

### シアターラック「AN-SR600」の組み立ての注意事項について

日頃は、シャープ製品をご愛用いただきまして、誠にありがとうございます。

下記シアターラック組み立て時の注意事項と、組み立て状態の確認方法についてご案内いたします。

**(ご注意) 組み立て方が正しくない場合、グラつきの原因となりますのでご注意ください。**

#### ■対象となる製品

シアターラック AN-SR600



#### ■組み立ての注意事項

##### 1) スクリュースチールピンの取り付け方

スクリュースチールピンの締めすぎや締め付け不足は、側板の抜けやグラつきの原因になります。

**(注意) インパクトドライバーなどのトルクの強い電動工具はご使用にならないでください**

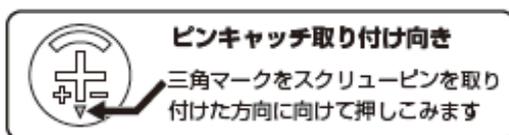


##### 2) ピンキャッチの取り付け方

側板のピンキャッチ穴の内部にスクリュースチールピンの頭部が見えることを確認して、プラスドライバーで向きを調整しながら押し込みます。

プラスドライバーで▼マークを時計回りにゆっくりと回して固定します。

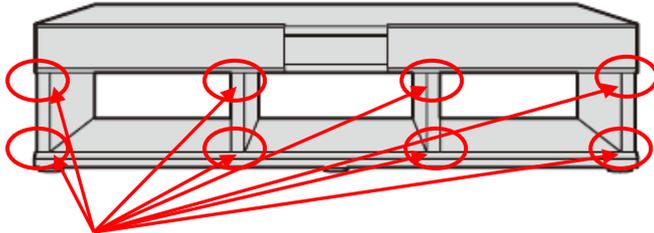
**(注意) 無理に回しすぎると破損します。**



## ■組み立て状態の確認方法

### 1) 本体、底板と側板の隙間の確認

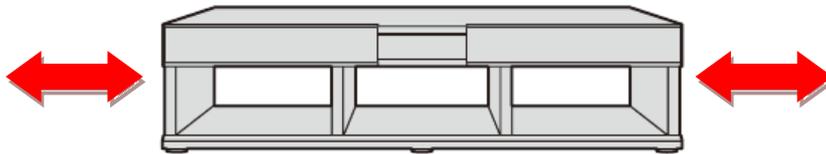
ピンキャッチが確実にロックしている場合、本体ならびに底板と側板の間に隙間は生じません。スクリーussteelピンの締めすぎや締め付け不足がある場合、ピンキャッチによる固定が不十分となり、隙間が生じます。



正面、背面のピンキャッチ付近の隙間を確認してください。

### 2) グラつきの確認

テレビを下した状態で、シアターラックの本体を軽く横方向にゆすってください。組み立てが不十分な場合、グラつきが生じます。グラつきが生じた場合、組み立て直してください。



(注意)

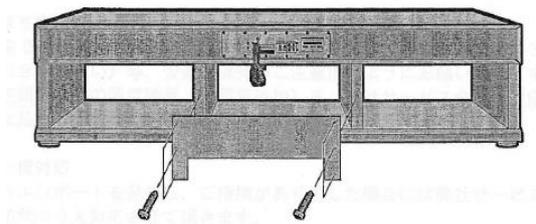
- グラつきを確認する際は、必ずテレビを下した状態で行ってください。テレビが転倒する恐れがあります。
- レコーダーなどの棚の中に設置しているものは、そのままの状態で大丈夫です。
- 勢いよく押さないでください。グラつきの原因となります。

## ■背板の追加について

グラつきを防止するために、本体中央枠の背面に背板を追加させていただきます。

弊社サービス会社の担当者がお客様のご都合に合わせてご訪問させていただき、作業を行わせていただきますので、下記窓口までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、製造時期により背板が同梱されている場合がございます。その際にご連絡いただく必要はございませんが、グラつきが生じていない場合でも、補強のために必ず背板を取り付けていただきますようお願いいたします。



## ■背板追加のお申し込み、お問い合わせ窓口

### シャープ お客様相談窓口

フリーダイヤル **0120-001-251** ※固定電話・PHSからご利用になれます。

携帯電話からは(ナビダイヤル)

**0570-550-113**

IP電話などフリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用できない場合

**043-331-1626**

受付時間 月～土曜日 9:00～18:00、日曜・祝日 9:00～17:00

このお知らせは、ケースデンキ各店で対象機種をご購入いただきましたお客様にお送りいたしました。この度は、ご迷惑をお掛けいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。